

桃の節句にちなみ

# 鞆幼稚園児が「西王母」の連吟

## ひなまつり会で披露

三日は「桃の節句」。福山市鞆町の鞆幼稚園で開いたひなまつり会で、園児がひな祭にちなんだ能の連吟を披露した。

鞆は昨年秋に沼名前神社能舞台で小学生、中学生が舞や謡を披露するなどに縁がある地。園児にも能に親しむ機会を、喜多流大島能楽堂（福山市光南町）から指導を受けた。

園児が指導を受けたのは三千年に一度咲くという貴重な桃の木や三月三日が誕生日という中国の女神が登場する「西王母」。

喜多流能楽講師の大島紀恵さん（25）が昨年十一月から指導していた。舞台上に登場したのは年長組の園児九人。赤や青の着物に袴姿も凛々しく、所作も堂に入った様子で「西王母」の連吟を

歌いあげた。セリフに詰まることもなく、通った声で連吟を披露する園児に保護者や地域の人から拍手があつた。

指導にあたった大島さんも「今までで一番の出来だった」と称える出来

映え。出演者の一人の藤原彩ちゃん（6）は「緊張したけど上手に歌えた」と話していた。

ひなまつり会では全員で「羽衣」を吟じたり、大島さん演じる「羽衣」の仕舞も披露された。



ひな飾りをバックに「西王母」を披露する園児

06/03/04 大陽新聞

back